

Title	桑港差出の福澤書翰
Sub Title	
Author	河北, 展生(Kawakita, Nobuo)
Publisher	三田史学会
Publication year	1954
Jtitle	史学 Vol.27, No.2/3 (1954. 5) ,p.17(115)- 17(115)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	餘白録 慶應義塾史研究特輯
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19540500-0017

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

に相携えて社會的義務の遂行に邁進すべきときが來たと云われておるのでありますが、しかしながら、男女の平等は單なる政治上、法律上の平等以上に意味するところが甚だ大なるものがあります。論理的な男女平等論者は、婦人の經濟的獨立が男女眞個の社會的平等にとりまして必要缺くべからざるものであると見なければならなかつたのであります。

福澤先生は婦人に經濟的獨立の基礎を與えようとしていろ／＼考えておられたようであります。しかしながら、婦人の經濟的獨立殊に婦人の賃金稼ぎには種々様々な問題が含まれておることを見なければならぬのでありまして、この點だけを研究いたしてもなか／＼興味の深いものと存するのであります。

甚だ不完全な講演でございましたが、これをもつて終ることといたします。御清聽を感謝いたします。

本稿は昭和二十七年十一月二十九日、福澤先生研究會主催の講演會に於ける講演速記に加筆したものである。(編者)

桑港差出の福澤書翰

福澤家より慶應義塾に寄託された資料中に幕末の雜記録を淨寫した四冊の寫本の中に左の如き書翰が寫されてゐる。

正月十九日横濱同船海ヨリ無滯サンフランシスコに着仕候色々珍談も有之候得共大封之書状差出候義出來不申歸帆之上委細可申上候御船も御修覆有之ニ付いつれ來月十日頃出帆に可

相成候海上二ヶ月ト積リ五月節旬前後には歸府可仕御傳可ヒ下候千里外に出テ困リ候は酒斗也五月歸府之上澤山可相用相樂しみ申候弊塾及岡見君其外宜敷被仰上可被下候

(萬延元年)三月九日

從サンフランシスコ

土岐太郎八様

福澤諭吉

文中の岡見は岡見彦三、土岐は後の福澤の岳父。この書翰にて渡米中も福澤塾の存續してゐたことを知り得る。(河北展生)